

発寒ひかり  
保育園だより

2023年  
8月号

巻頭言

石内都さんの「ひろしま」という写真集をご存じでしょうか。出版は2008年なのですが、私は今年たまたま見た番組（別々の2番組）でその存在を知りました。広島平和記念資料館に收藏されている被爆遺品を撮影した写真集です。

札幌市図書館の作品紹介の欄には「花柄のワンピース、水玉のブラウス、テラーメイドの背広、壊れたメガネ。写真家・石内都が、広島平和記念資料館に收藏されている被爆遺品を撮影。美しいから辛い、可憐だからむごい。広島的心模様が残る写真集。」と書かれています。

カラーで写っているその衣服たちは、思いのほか色が残っており、デザインもとても素敵なものが多いのです。だからこそ、とても身近に感じてしまい、「もしかしたら、これを着ていたのは私だったかもしれない……」とも思いました。

資料館には、展示されずに保管されている遺品も多く、1万9000点も收藏されているそうです。その遺品は、一人ひとり持ち主がいちたはずです。もし、生きていたら、どのような人生を送っていたのだろうか……と考えずにはいられません。

戦争は過去のものではなく、今現在もウクライナを始めこの地球上で起きています。ということは、同じように遺品が増え続けているのです。この日本も戦争が絶対起きないと言いきれるでしょうか。

当園では「平和育」として平和の大切さを子どもたちにも伝えていきます。終戦記念日のあるこの8月、あらためてお子さんと『平和』について、少し話してみませんか？

園長 阿部 尚子